

基本操作を覚えましょう

この章では、本機の演奏や再生／録音に関する基本操作をご紹介します。
ふだんよく使う機能にしばって説明していますので、
ぜひお読みいただき、使い方をマスターしましょう。

[1:演奏や再生／録音に関わる基本操作]

- 電源の入れ方・切り方(電源ON/OFF).....P30
- ドライブの選び方(ドライブ選択).....P31
- メトロノームを鳴らす(メトロノーム機能).....P32
- 様々な設定を工場出荷時の状態に戻す(リセット機能).....P34

[2:演奏]

- ピアノの音を消して演奏する(サイレント機能).....P36
- ピアノで内蔵音源の音色を使って演奏する(音色モード／音色機能).....P37

[3:再生]

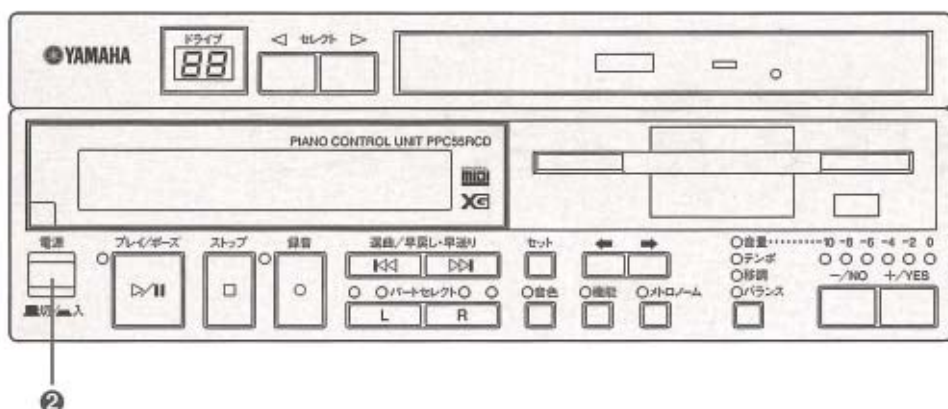
- メモリディスクの曲を再生する(再生の基本操作).....P38
- フロッピーの曲を再生する(再生の基本操作).....P39
- 付属のスマートキー対応フロッピーを再生する(スマートキー機能).....P40
- 付属のピアノソフトプラスオーディオCDを再生する(ピアノソフトプラスオーディオ).....P42
- 市販のオーディオCDを再生する(CDの再生).....P44
- 再生音の音量を調節する(音量調節).....P45
- 内蔵電子音源の音程をピアノに合わせる(TGマスターチューン機能).....P46
- オーディオCDのピッチを一時的に調節する(オーディオCDピッチアジャスト機能).....P47

[4:録音]

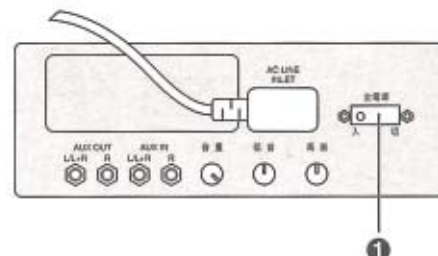
- 新品のフロッピーを本機で使えるようにする(フロッピーのフォーマット).....P48
- ピアノの演奏を録音する(録音の基本操作).....P50

電源の入れ方・切り方

■電源 ON/OFF



アンプユニット (位置は P12 参照)



- ポイント**
- アンプユニットとコントロールユニットのそれぞれに電源スイッチがあります。
 - サイレント機能／自動演奏機能／内蔵音源等をご使用になる際は、アンプユニットの[主電源スイッチ]が「入」になっていることをご確認の上、コントロールユニットの[電源スイッチ]を「入」にします。これらの機能を使い終わったら、コントロールユニットの[電源スイッチ]を「切」にしてから、アンプユニットの[主電源スイッチ]を「切」にしてください。
 - サイレント機能／自動演奏機能／内蔵音源等を使わず、ピアノを演奏するだけの場合は、電源を入れる必要はありません。

- 注意**
- 電源を切った後、再度電源を入れる場合は、5秒以上の間隔をあけてください。
 - コントロールユニットの[電源スイッチ]を切り、パネル表示が消えてから、アンプユニットの[主電源スイッチ]を「切」にしてください。主電源を先に切るとボリュームなどの設定値が記憶されません。
 - 長期間ご使用にならない時は、コントロールユニットの[電源スイッチ]が「切」になっていることをご確認の上、アンプユニットの[主電源スイッチ]を「切」にした後、さらに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - サイレント状態のままで[主電源スイッチ]を「切」にしないでください。

●電源の入れ方

- ① アンプユニットの[主電源スイッチ]を「入」にします。
- ② コントロールユニットの[電源スイッチ]を押します。
画面には下の表示が順にあらわれます。

***** YAMAHA *****
SILENT ENSEMBLE PIANO

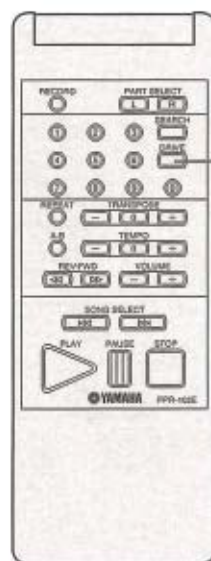
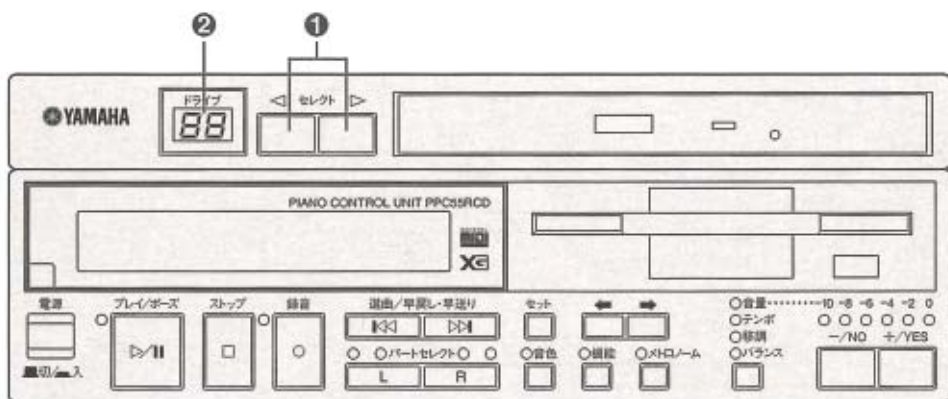
シハ^レラクオマチクタ^レサイ

●電源の切り方

- コントロールユニットの[電源スイッチ]を押して「切」にし、コントロールユニットの画面表示が消えてから、アンプユニットの[主電源スイッチ]を「切」にします。

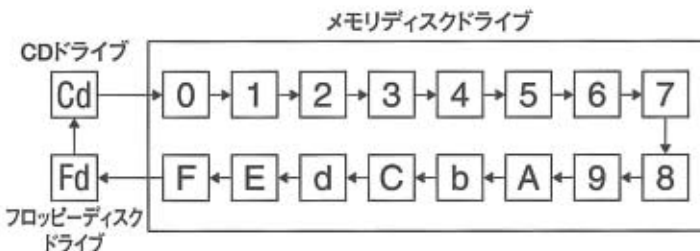
ドライブの選び方

■ドライブ選択



機能 ●メモリディスクドライブ (0~9、A~F)、フロッピーディスクドライブ (Fd)、CDドライブ (Cd) の中から、使用するドライブを選びます。

ポイント ●フロッピーとCDを挿入していない場合は、メモリディスクドライブのみが選べます。
●フロッピーを挿入すると、自動的にフロッピーディスクドライブ (Fd) が選択されます。
●CDを挿入すると、自動的にCDドライブ (Cd) が選択されます。
●フロッピーとCDを両方挿入したままで電源を入れると、フロッピーディスクドライブ (Fd) が選択されます。
●本機では、後から入れたフロッピーやCDが優先して自動的にセレクトされる便利な機能があります。フロッピーを入れた後でCDを入れると自動的にCDドライブ (Cd) が選択されます。またCDを入れた後でフロッピーを入れると自動的にフロッピーディスクドライブ (Fd) が選択されます。
●フロッピーディスクドライブとCDドライブは、フロッピー／CDをそれぞれ挿入している時のみ選べます。
●リモコンの [ドライブボタン] で選ぶこともできます。[ドライブボタン] を押すたびに、下の図の順に切り替わります。



注意 ●[ドライブボタン] を押して実際にドライブが選ばれるまでには約2秒かかります。

手順 ●再生/停止/一時停止中ともに操作できます。

① [セレクトボタン (◀/▶)] を押すたびに、ドライブが順番に切り替わります。
[▶ボタン] では押すたびに左図のような順で切り替わります。
また [◀ボタン] では押すたびに左図の逆の順でドライブが切り替わります。
※リモコンでは [ドライブボタン] で操作します。

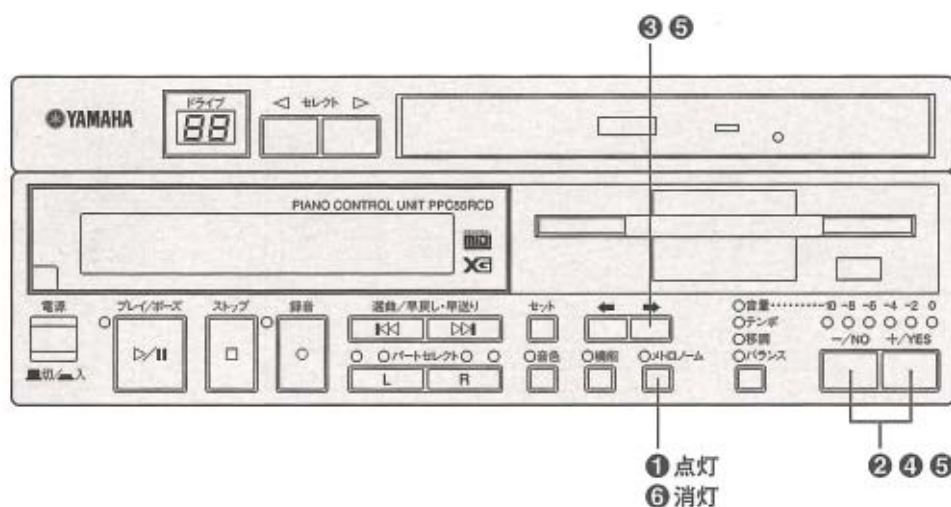
② 選ばれたドライブが [ドライブインジケータ] に表示されます。

●ドライブインジケータの表示

| | |
|------------|-----------------|
| = メモリディスク0 | = メモリディスク9 |
| = メモリディスク1 | = メモリディスクA |
| = メモリディスク2 | = メモリディスクb |
| = メモリディスク3 | = メモリディスクC |
| = メモリディスク4 | = メモリディスクd |
| = メモリディスク5 | = メモリディスクE |
| = メモリディスク6 | = メモリディスクF |
| = メモリディスク7 | = フロッピーディスクドライブ |
| = メモリディスク8 | = CDドライブ |

メトロノームを鳴らす

■メトロノーム機能



- メトロノーム音と[－/NOボタン][＋/YESボタン]上部の点滅で、拍子・テンポを知らせます。
- メトロノームの設定範囲

| | |
|---------|---|
| メトロノーム音 | ON(発音する)、OFF(発音しない) |
| テンポ＝ J | 30～400 (J＝001ステップ) *数値は1分間の拍数です |
| 拍子 | 1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、 6/4、7/4、8/4、9/4 |
| 音量 | 50～127(サイレントモード時) |

※メトロノーム録音時(P90参照)も設定範囲は同じです。

- 拍子はすべて4分音符で、テンポも常に J＝〇〇〇でカウントします。拍子を8分音符で数えるものや、J＝〇〇〇などのテンポは換算してください。
- サイレントモード時は内蔵電子音源(XG音源)を使ったメトロノームが鳴ります。ヘッドフォンまたはスピーカーでお聴きになれます。
- サイレントモード時はトラック10に他のパートをトラック移動/コピー(P108、110参照)すると、そのパートの音色設定も移動/コピーされ、サイレント時にメトロノーム音がその音色で発音します。
- サイレントモード時は⑤でメトロノームの音量が設定できます。



- ①の画面で[カーソルボタン<]を1回押し、[－/NOボタン]で「クリック＝OFF」とすれば、メトロノームを鳴らさずに、ディスプレイ上部の点滅のみでテンポをカウントさせることもできます。
- [メトロノームボタン]が点灯していれば、いつでも設定を変更できます。
- ②④で、[－/NOボタン][＋/YESボタン]を同時に押すと、①の初期値に戻ります。

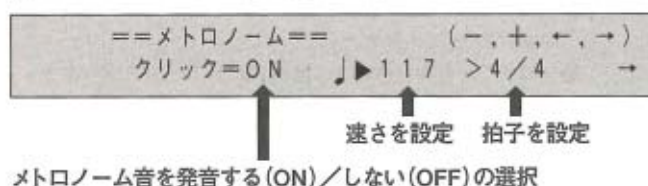


- 電源オフで速さと拍子は初期値に戻りますが、メトロノームの音量は記憶されています。



- 停止中にメトロノームを鳴らすには

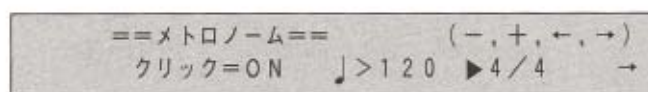
- ① [メトロノームボタン]を押します。

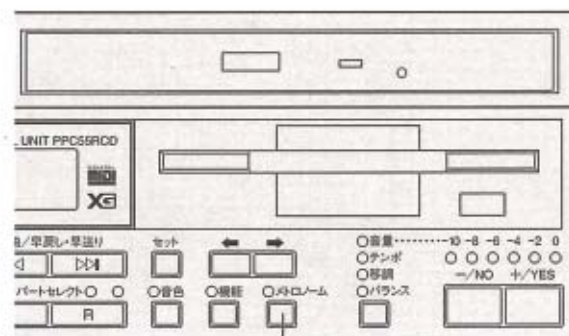


- ② [－/NOボタン][＋/YESボタン]で速さを設定します。



- ③ [カーソルボタン<]を1回押します。





- ① 点灯
② 消灯

- ④ [-/NO ボタン][+/YES ボタン]で拍子を設定します。

==メトロノーム== (-, +, ←, →)
クリック=ON ♪ > 1 2 0 ▶ 3 / 4 →

＜サイレント機能使用時のみ＞

- ⑤ [カーソルボタン⇄]で次画面を表示させ、[-/NO ボタン][+/YES ボタン]でメトロノーム音量を設定します。

==メトロノーム== (-, +, ←)
+ Vol ▶ 1 0 0 へ* タ* ル カウント=OFF

※カーソルボタン⇄で前画面に戻ります。

- ⑥ もう1回[メトロノームボタン]を押せば、メトロノーム解除になります。

PIANO ○ ○ ○ . MID (0 0 1 - 1) →
S 0 X G

[-/NO ボタン][+/YES ボタン]上部の点灯による拍の表示
次のように点滅して、テンポ・拍を知らせます。

| | | | | | | |
|------|-----|----|----|----|----|---|
| 1 拍目 | -10 | -8 | -6 | -4 | -2 | 0 |
| | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 拍目 | -10 | -8 | -6 | -4 | -2 | 0 |
| | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● |
| 3 拍目 | -10 | -8 | -6 | -4 | -2 | 0 |
| | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 4 拍目 | -10 | -8 | -6 | -4 | -2 | 0 |
| | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● |



- メトロノーム録音曲の再生中に
メトロノームを鳴らすには

- ① [メトロノームボタン]を押すとメトロノームが鳴りはじめます。
- ② 再度[メトロノームボタン]を押すとメトロノーム音が止まります。

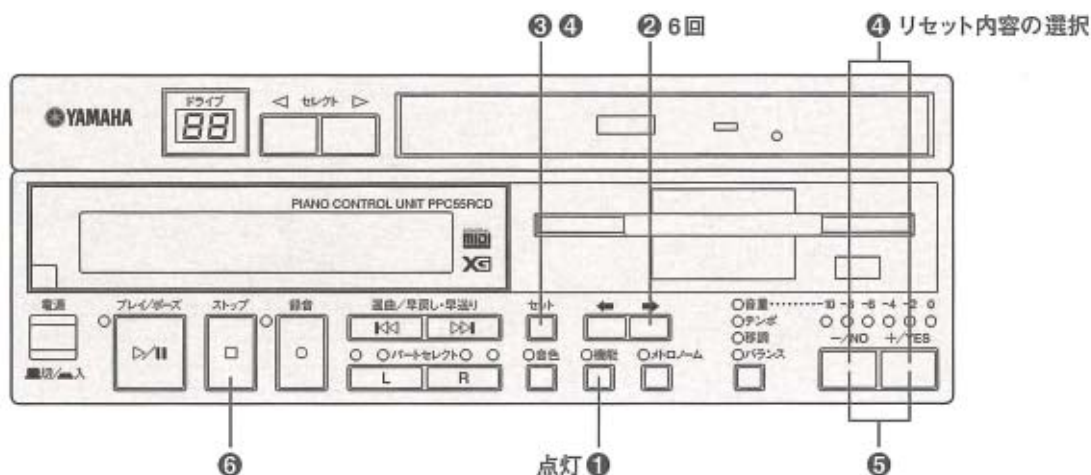
※メトロノーム録音曲(P90参照)に限り、録音時のテンポでメトロノームを鳴らすことができます。

※サイレント機能使用時のみ、⑤でメトロノームの音量が設定できます。

●「メトロノーム録音」とは、曲の経過時間でなく、小節・拍で演奏データを管理する録音方法です。録音時には、内蔵の電子メトロノーム音を聴きながら、演奏することができます。ディスプレイやランプ上部の点滅でもテンポ・拍子を知ることができます。

様々な設定を工場出荷時の状態に戻す

■リセット機能



- メモリディスクの内容やさまざまな設定を工場出荷時の状態（初期値）に戻す「リセット機能」です。
- メモリディスクをリセットすると録音内容はすべて失われ、ディスクタイプはSMFタイプとなります。
- 工場出荷時にあらかじめメモリディスクに記録されている「Opening」を復活させることができます。



- いったんリセットを実行すると設定内容を元に戻すことはできません。
- メモリディスクに録音された曲の内容、セットアップに含まれる項目と初期値を十分にご確認の上で行ってください。
- メモリディスクをリセットする際は、フロッピーに曲をコピー（P118参照）してから行うことをおすすめします。



- 停止中に操作します。

- ① [機能ボタン]を押します。

デ ィ ス ク * M I D I S e t u p →
* M - T u n e * サ イ レ ン ト

- ② [カーソルボタン<=>]を6回押します。

← * ト ラ ッ ク * ス マ ー ト キ ー
 ▶ リ セ ッ ト

- ③ [セットボタン]を押します。

= リ セ ッ ト = (- , + , セ ッ ト)
▶ セ ッ ト ア ッ プ *

- ④ [-/NOボタン][+/YESボタン]を押してリセットする内容を選び、[セットボタン]を押します。

= リ セ ッ ト = イ ニ シ ャ リ ザ イ ズ ? (Y E S , N O)
▶ セ ッ ト ア ッ プ *

[リセットは次の4種類から選択]

- セットアップ=MIDIセットアップとオートセットアップ
- メモリディスク[0]+セットアップ=現在選択中のメモリディスクとセットアップ
- メモリディスク[0]=現在選択中のメモリディスク
- ファクトリー イニシャライズ=全メモリディスク+セットアップ

- ⑤ リセットする場合は[+/YESボタン]を押します。リセットを取り止める場合は[-/NOボタン]を押します。

- ⑥ リセットした場合、下の表示になったら、[ストップボタン]を押します。

シュウリョウシマシタ
ナニカ ホ タンヲ オシテクタ サイ

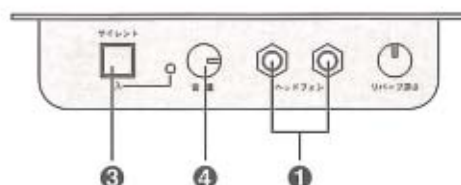
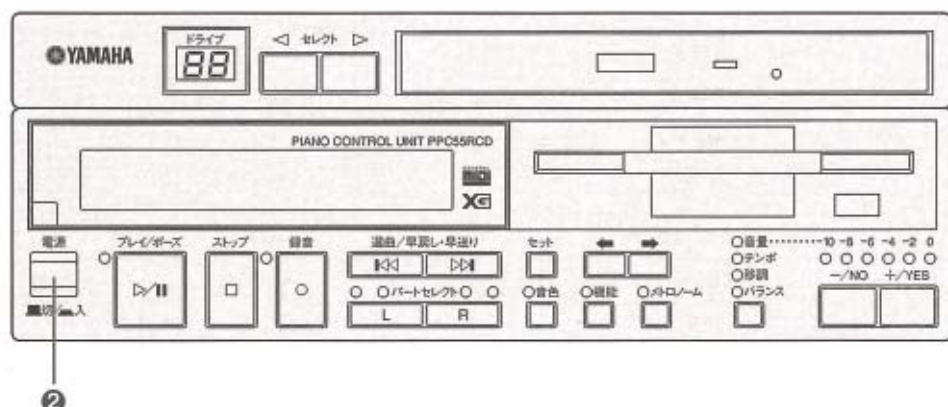
※この後、曲名表示になります。
※リセットを取り止めた場合は、④の表示に戻ります。

●リセット一覧表

| 項目 | | 設定範囲 | 初期値 |
|------------|---------------------|-------------------------------------|---------|
| サイレント | リバーブのタイプ | ルーム, ホール 1, ホール 2 | ホール 1 |
| | 鍵盤動作 | ON, OFF | ON |
| | 発音数 | 32, 64 | 32 |
| 音色モード | 音色 | 001 ~ 128 | 001 |
| | 音量 | 000 ~ 127 | 100 |
| | PianoTone | OFF, ON | OFF |
| 再生 | 音量 | -10 ~ 0 | 0 |
| | テンポ | -50 ~ +20 | 0 |
| | 移調 | -24 ~ +24 | 0 |
| | リピート | OFF, ALL, RPT, RND, A-B | OFF |
| | ペダルキャンセル | ON, OFF | ON |
| マスターチューン | TG Master Tune | -50 ~ +50 | 00 |
| | オーディオ CD ピッチアジャスト | -50 ~ +50 | 00 |
| マスターバランス | TG Master Balance | 0 ~ 127, OFF | 100 |
| | CD Master Balance | 0 ~ 127, OFF | 64 |
| メトロノーム | クリック | ON, OFF | ON |
| | テンポ | 30 ~ 400 | 117 |
| | 拍子 | 1/4 ~ 9/4 | 4/4 |
| | 音量 | 50 ~ 127 | 100 |
| ペダルカウント | | OFF, ON | OFF |
| MIDIセットアップ | Piano Rcv Ch | # #, 1 ~ 16, 1+2, Prg, HP, Prg(All) | 1 |
| | Delay In | ON, OFF | ON |
| | Import File L | # #, 1 ~ 16, Prg, Prg(All) | Prg |
| | R | # #, 1 ~ 16, Prg, Prg(All) | Prg |
| | Piano Part ESBL Out | OFF, ON | OFF |
| | MIDI Out | ESBL Out, KBD Out, Thru Port2 | KBD Out |
| | Out Ch | OFF, 1 ~ 16, HP | 1 |
| | Split | OFF, B-1 ~ C7 | OFF |
| | Trans L | -60 ~ +60 | 0 |
| | R | -60 ~ +60 | 0 |
| | Remote Out | OFF, ON | OFF |
| | Remote In | OFF, ON | OFF |
| | Local | ON, OFF | ON |
| オートセットアップ | オートスタート | OFF, ON | OFF |
| | スペースプレイ | OFF, 1 ~ 300, STOP | OFF |
| スマートキー | キーブロンプト | OFF, ON, AUTO | AUTO |
| | ブロンプトリピート | OFF, ON, AUTO | AUTO |

ピアノの音を消して演奏する

■サイレント機能



- ピアノの生音を消し、内蔵のピアノ電子音で演奏ができる「サイレント機能」です。
- 演奏はヘッドフォンで聴けます。
- ヘッドフォンは同時に2本まで使えます。
- ヘッドフォンを接続しなければ、本体のスピーカーで消音演奏を聴くことができます。



- [音量ツマミ]④が3時の位置が、標準のボリューム位置です。この時、ピアノの音とヘッドフォンで聴いたピアノ電子音とが、ほぼ同じ音量になります。
- 自動演奏の再生も消音演奏させることができます。また、再生途中で[サイレントスイッチ]③をオン／オフしてもかまいません。



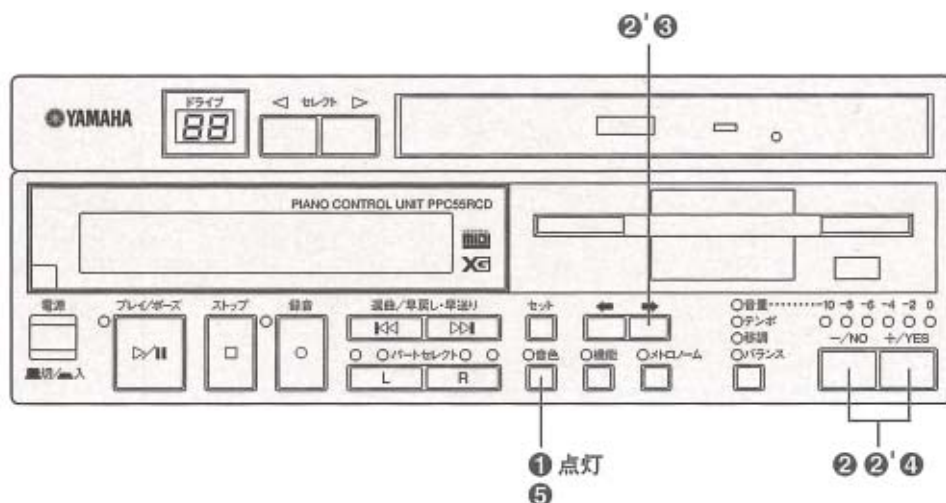
- サイレント・スイッチ操作時のかすかな音は、ハンマーシャックストッパーを動かすモーターの音です。
- サイレント機能を使用後、電源を切る場合は、コントロールユニット→アンプユニットの順で電源を切ってください(P30)。順番を間違えるとサイレント状態が解除できなくなります。



- ① スイッチボックスの[ヘッドフォン端子]にヘッドフォンを接続します。
ヘッドフォンは2本まで同時に使えます。
- ② コントロールユニットの電源を入れます。
(アンプユニットの[主電源スイッチ]が「入」になっている必要があります)。
- ③ スイッチボックスの[サイレントスイッチ]を押します。
右脇のランプが点灯します。これでピアノの音が消えます。
- ④ スイッチボックスの[音量ツマミ]でピアノ電子音の音量を調節します。

ピアノで内蔵音源(XG音源)の音色を使って演奏する

■音色モード(音色機能)



●ピアノの鍵盤演奏を、本機内蔵の電子音源(XG音源)がもつ様々な音色を使って行えます。



●②の状態では選択できるのは、128基本音色+11ドラム音色(9リズムキット、2SFXキット)+42SFX(特殊効果)音色です(ディスプレイの音色名は8文字以内に省略して表示しています)。音色番号・音色名一覧表はP164-167参照。

●②'の状態を含めると、コントロールパネルで選択できる音色は全部で480ノーマル音色+11ドラム音色です。

●②'の画面に切り換えた時に選択できるXGの拡張音色は、②の128基本音色に対するバリエーション音色です。拡張音色にはバンク番号が付いており、②'の画面に切り換えると音量表示がバンク番号表示に切り換わります(Vol=000→Bnk=000)。拡張音色はP165-166参照。

●サイレント時は、内蔵電子音源(XG音源)の音色とともにピアノ電子音を発音させる/させないを選択することもできます(P57参照)。



●音色番号を設定しない状態(「Voice=# # #」)では、内蔵音源は鍵盤演奏で発音しません。

●XG音色のバンク番号は必ずしも連続した番号ではありません。

●各基本音色に対する拡張音色の数は一定ではありません。例えば「Voice=001<GrandPno>」に対する拡張音色は4種類ですが、「Voice=002<BritePno>」に対応する拡張音色は1種類です。

●基本音色によっては対応するXGの拡張音色を持たないものもあります。例えば「Voice=060<Mute.Trp>」は対応する拡張音色を持たないため、②'の画面に切り換えても拡張音色を選ぶことはできません。

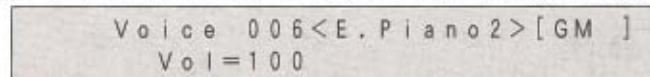


●停止中または再生中に操作します。

① [音色ボタン]を押します。

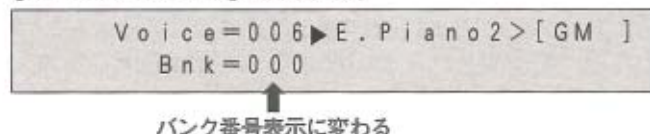


② [ー/NOボタン][+ /YESボタン]で音色を選びます。



この状態で、128基本音色/11ドラム音色/42SFX音色が選べます。

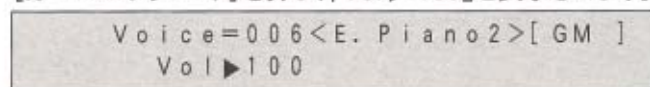
②' XG音源の拡張音色を選ぶには、
[カーソルボタン⇐⇒]を押します。



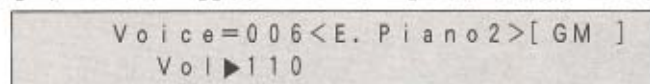
②' [ー/NOボタン][+ /YESボタン]で音色を選びます。



③ 鍵盤を弾いての音色演奏の音量を調節するには、
[カーソルボタン⇐⇒]を押し、「Vol▶100」と表示させます。



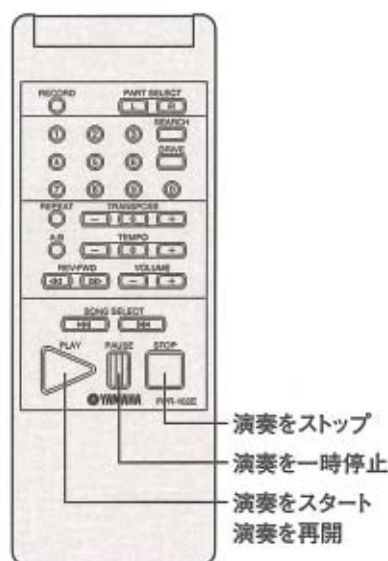
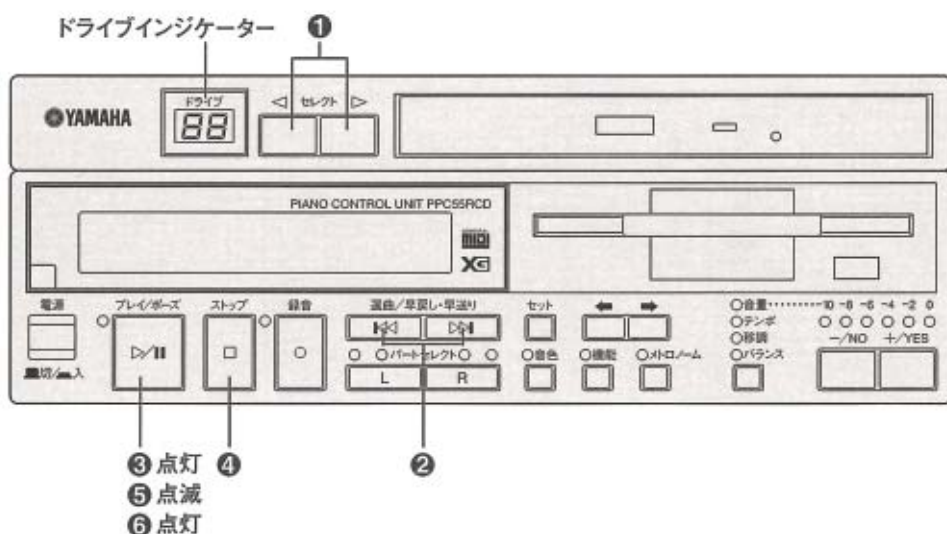
④ [ー/NOボタン][+ /YESボタン]で音量を調節します。



⑤ 解除する場合は、再度[音色ボタン]を押して消灯させます。

メモリディスクの曲を再生する

■再生の基本操作



- メモリディスクの曲を演奏します。



- [プレイ/ポーズボタン]が点滅していたら、一時停止(ポーズ)中です。もう一度[プレイ/ポーズボタン]を押せば演奏を再開します。
- サイレント時はピアノ電子音で再生されます(ピアノの生音は鳴りません)。ヘッドホンまたは本体のスピーカーでお聴きになれます。
- サイレント時は鍵盤を動かさないで再生することもできます(P55参照)。



- 出荷状態では、あらかじめメモリディスクに短いフレーズ(「Opening」)が入っています。再録音(P86参照)または曲消去(P116参照)で消すことができます。
- 1曲目で停止状態の時、左向きの[選曲/早戻しボタン]を押すと、ディスクタイトルを表示できます(再生中はこの機能は使えません)。また、ディスクタイトル表示の途中で[ストップボタン]を押して曲名表示にジャンプさせることもできます。ディスクタイトルがつけられていない場合はディスクのタイプのみ表示されます。
- サイレント状態の時は、再生時にダンパーペダルの動きはありませんが、ピアノ電子音にペダル効果があります。

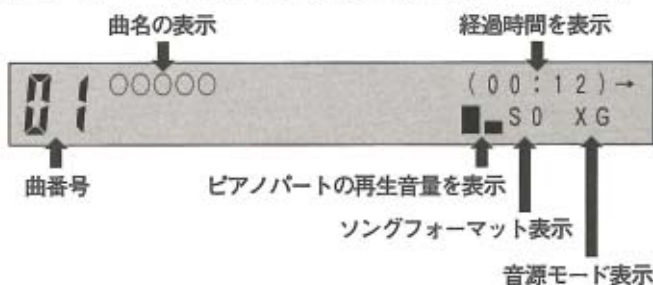
- 停止中に操作します。
- メモリディスクドライブを選択してください。



- ① [ドライブセレクトボタン]を押して、再生したい曲が入っているメモリディスク(0~9、A~F)を選びます。選択したドライブは[ドライブインジケータ]に表示されます。
- ② [選曲/早戻し・早送りボタン]を押して、再生したい曲を選びます。



- ③ [プレイ/ポーズボタン]を押すと、再生がスタートします。



- ④ 再生を停止したい時は[ストップボタン]を押します。



- 再生の途中で一時停止するには



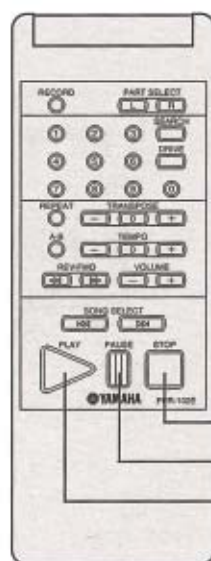
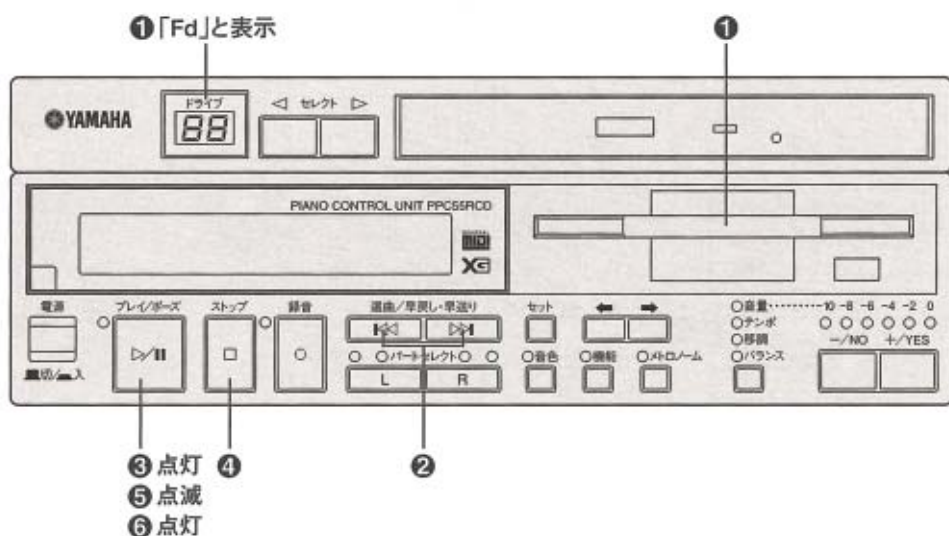
- ⑤ 再生中に[プレイ/ポーズボタン]を押します。



- ⑥ もう1回[プレイ/ポーズボタン]を押すと演奏が再開します。

フロッピーの曲を再生する

■再生の基本操作



- フロッピーの曲を演奏します。



- フロッピーを入れたら、自動的にフロッピーディスクドライブ (Fd) が選ばれます。
- [プレイ/ポーズボタン] が点滅していたら、一時停止 (ポーズ) 中です。もう一度 [プレイ/ポーズボタン] を押せば演奏再開します。
- サイレント時はピアノ電子音で再生されます (ピアノの音は鳴りません)。ヘッドフォンまたはスピーカーでお聴きになります。
- サイレント時は鍵盤を動かさないで再生することもできます ([鍵盤動作のキャンセル] P55 参照)。



- フロッピーの曲を再生した後で、メモリディスクや CD の曲を再生した場合は、[セレクトボタン] を押してフロッピーディスクドライブ (Fd) を選び直してください (P31 参照)。
- 1 曲目で停止状態の時、左向きの [選曲/早戻しボタン] を押すと、ディスクタイトルを表示させられます (再生中はこの機能は使えません)。また、ディスクタイトル表示の途中で [ストップボタン] を押して曲名表示にジャンプさせることもできます。ディスクタイトルがつけられていない場合はディスクのタイプのみ表示されます。
- サイレント状態の時は、再生時にダンパーペダルの動きはありませんが、ピアノ電子音にペダル効果があります。
- 再生中、一時停止中はフロッピーを取り出さないでください。

- 停止中に操作します。

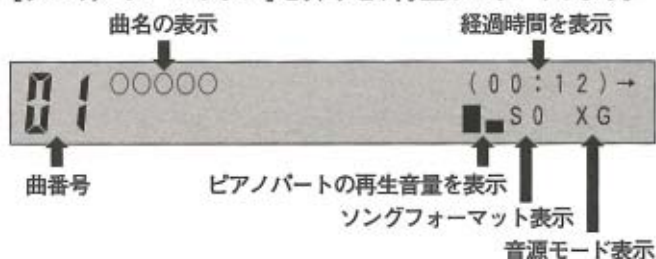


- 1 フロッピーを [フロッピーディスクドライブ] に入れます。自動的にフロッピーディスクドライブが選択され、[ドライブインジケータ] に「Fd」と表示されます。既にフロッピーが挿入されている場合には「フロッピーディスクドライブ」を選択してください (P31 参照)。

- 2 [選曲/早戻し・早送りボタン] を押して、再生したい曲を選びます。



- 3 [プレイ/ポーズボタン] を押すと、再生がスタートします。



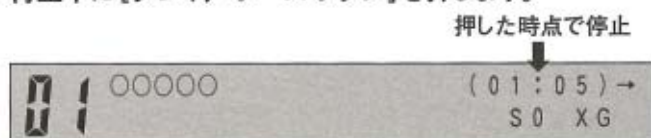
- 4 再生を停止したい時は [ストップボタン] を押します。



- 再生の途中で一時停止するには



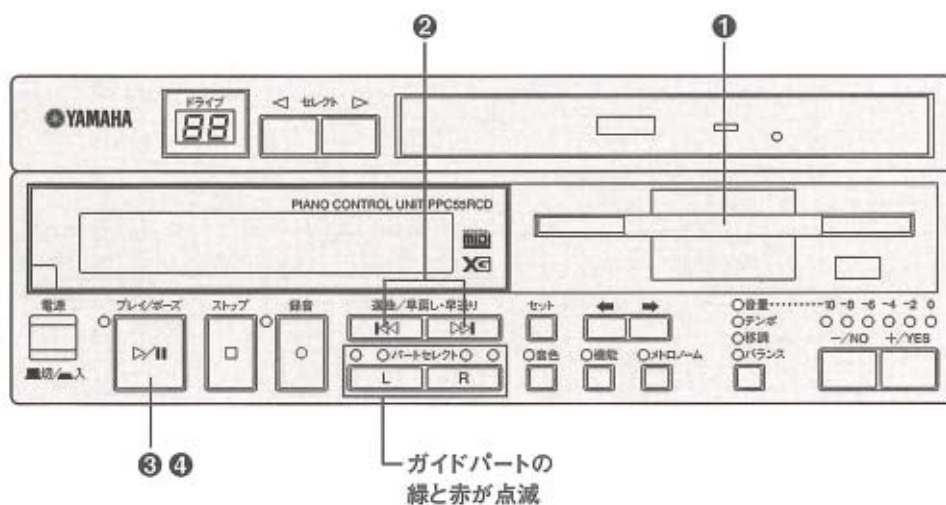
- 5 再生中に [プレイ/ポーズボタン] を押します。



- 6 もう1回 [プレイ/ポーズボタン] を押すと演奏が再開します。

付属のスマートキー対応フロッピーを再生する

■スマートキー機能 smartkey



- 付属のスマートキー対応フロッピーの曲を再生します。
- 「スマートキー」とは、次におさえる鍵盤が「ピクッ」と動いて教えてくれるユニークなガイド機能です。鍵盤演奏の練習などにご利用ください。



- 「スマートキー」機能では、再生中にガイド機能を常に働かせるか（キープロンプト）、弾かなかった場合にのみガイド機能を働かせるか（プロンプトリバート）を選択できます。
- 「スマートキー」機能は、市販のピアノソフト（LR対応曲）でも使うことができます。その場合は、フロッピーを入れて曲を選んだ後、[セットボタン]を押しながら[パートセレクトボタン]を押してガイドとなるトラック（LまたはR）を指定します。
- 付属のスマートキー対応フロッピーの曲は、メモリディスクにコピーしても、同様に機能します。

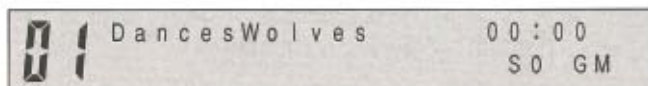


- 再生中、一時停止中はフロッピーを取り出さないでください。
- 「smartkey」はヤマハ株式会社の登録商標です。



●試しに再生してみましょう

- ① 付属のスマートキー対応フロッピーを[フロッピーディスクドライブ]に入れます。自動的にフロッピーディスクドライブが選択され、[ドライブインジケータ]に「Fd」と表示されます。
- ② [選曲/早戻し・早送りボタン]を押して、再生したい曲を選びます。

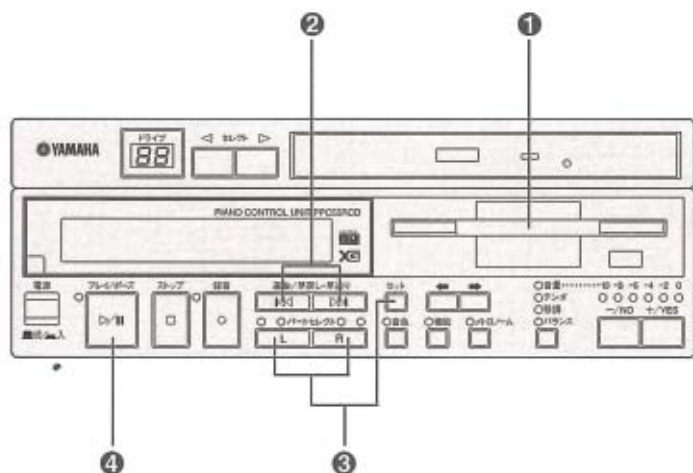


- ③ [プレイ/ポーズボタン]を押すと、再生がスタートします。再生がスタートすると、押さえる鍵盤がピクッと動き、再生がストップします。

また、画面の右上に鍵盤の音名が表示され、ガイドとなるパート（鍵盤が動くパート/LまたはR）の[パートセレクトボタン]の上の緑と赤のランプが両方とも点滅します。



- ④ 動いている鍵盤を押すと、演奏が再開されます。動いている鍵盤を次々と押してみてください。演奏をストップする場合は[ストップボタン]を押します。



●市販のピアノソフトでスマートキー機能を使うには

- ① 市販のピアノソフトを[フロッピーディスクドライブ]に入れます。自動的にフロッピーディスクドライブが選択され、[ドライブインジケータ]に「Fd」と表示されます。

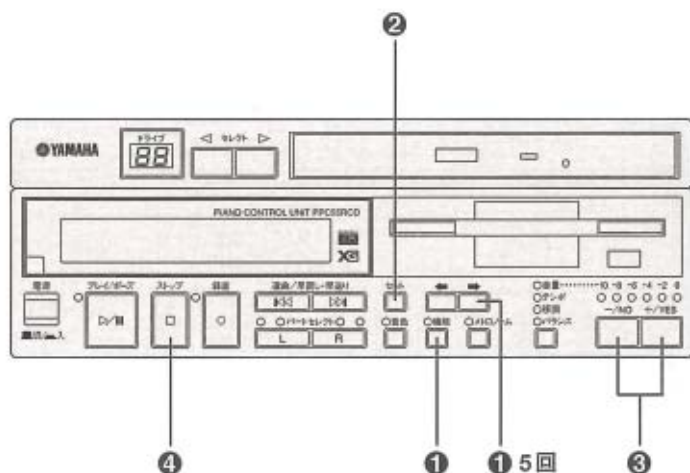
- ② [選曲/早戻し・早送りボタン]を押して、再生したい曲を選びます。



- ③ [セットボタン]を押しながら、[パートセレクトボタン]を押して、ガイドパート(鍵盤を動かせるパート/LまたはR)を指定します。

ガイドパートを選ぶと[パートセレクトボタン]の上の緑と赤のランプが両方とも点滅します。

- ④ [プレイ/ポーズボタン]を押すと、再生がスタートします。付属のスマートキー対応フロッピーの場合と同様に、動いている鍵盤を押してみてください。

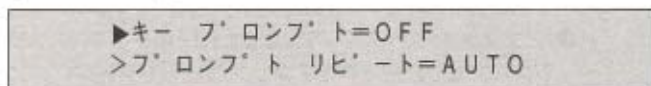


●スマートキー機能の鍵盤の動き方を設定するには

- ① [機能ボタン]を押してから、[カーソルボタン<=>]を5回押します。



- ② [セットボタン]を押します。



- ③ [一/NOボタン][+/YESボタン]を押して、鍵盤の動き方を設定します。

再生中に次におさえる鍵盤を常にピクッと動かせるには「キープロンプ」の項目を「ON」にします。弾かなかった場合にピクッと動かせるには「プロンプトリビート」の項目を「ON」にします。

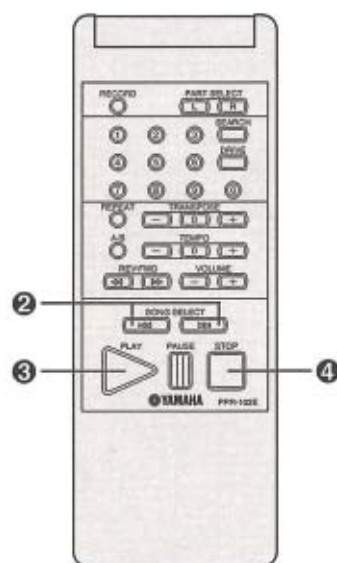
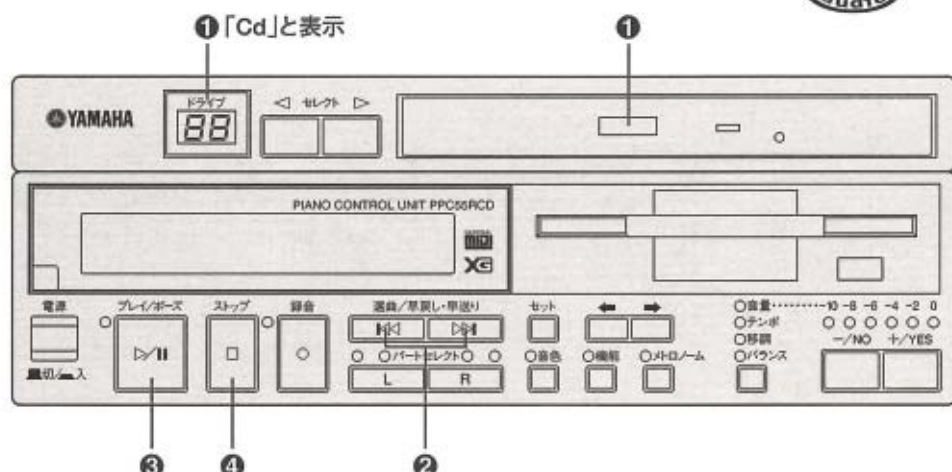
画面の「キープロンプ」と「プロンプトリビート」は、[カーソルボタン(<=>)]を押すたびに切り替わります。

- ④ 設定が終わったら[ストップボタン]を押します。

付属のピアノソフトプラスオーディオCDを再生する

■ピアノソフトプラスオーディオ

PianoSoftPlus
audio



- 機能** ●付属の「ピアノソフトプラスオーディオCD」を再生します。

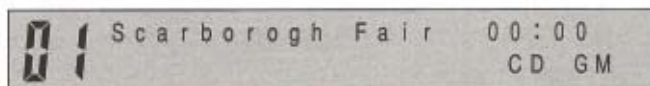
- ポイント**
- 付属の「ピアノソフトプラスオーディオCD」は、ヤマハフォーマットによるMIDI+オーディオ(1ch)のデータが7曲収録されています。
 - MIDIデータはピアノパートです。再生するとピアノの鍵盤が動きます。またサイレント時には内蔵のピアノ電子音が演奏されます。
 - オーディオデータは、楽器による伴奏やボーカルの音声(モノラル)です。再生するとスピーカーで音が聴けます。
 - 「ピアノソフトプラスオーディオCD」は、オーケストラやビッグバンドの曲も収録されたアンサンブルのソフトです。迫力のライブ演奏をお楽しみください。
 - CDの選曲/再生/停止などはリモコンでも操作できます。
 - オーディオパートの音量を0(最小)~127(最大)の範囲で設定することもできます。1回設定すると、他の曲を再生してもその音量で再生されます。
 - サイレント時はピアノ電子音で再生されます(ピアノの生音は聴けません)。ヘッドフォンまたは本体のスピーカーでお聴きになれます。
 - サイレント時は鍵盤を動かさないで再生することもできます(P55参照)。

- 注意**
- 付属の「ピアノソフトプラスオーディオCD」は再生専用のディスクです。録音はできません。
 - 付属の「ピアノソフトプラスオーディオCD」の曲はメモリスティックやフロッピーにコピーすることはできません。
 - 付属の「ピアノソフトプラスオーディオCD」のオーディオ音声は440Hzで聴るようにチューニングされています。440Hz以外で調律されたピアノで再生し、違和感のある場合は、「TGマスターチューン機能」(P46参照)を使ってチューニングを合わせてください。
 - サイレント状態の時は、再生時にダンパーペダルの動きはありませんが、ピアノ電子音にペダル効果があります。
 - 再生中、一時停止中はCDを取り出さないでください。
 - 「PianoSoftPlusAudio」はヤマハ株式会社の登録商標です。

- 手順** ●CDを再生するには

- 1 [CD取り出しボタン]を押してCDトレイを引き出し、付属の「ピアノソフトプラスオーディオCD」をセットしてトレイを閉めます。自動的にCDドライブが選択され、[ドライブインジケータ]に「Cd」と表示されます。既にCDが挿入されている場合は「CDドライブ」を選択してください(P31参照)。

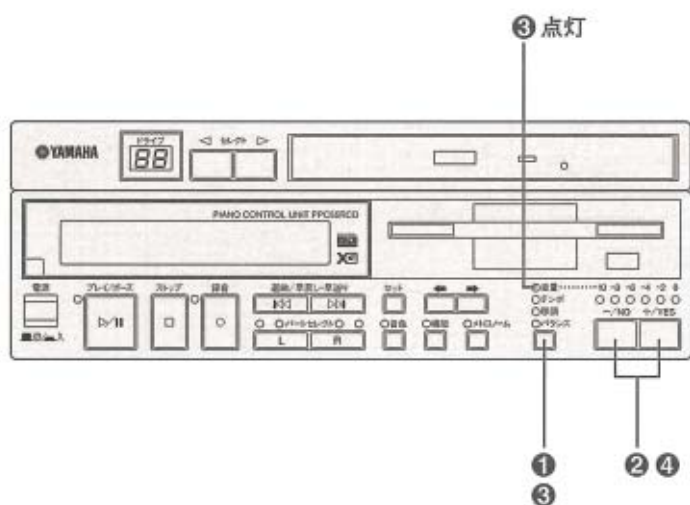
- 2 [選曲/早戻し・早送りボタン]を押して、再生したい曲を選びます。



- 3 [プレイ/ポーズボタン]を押すと、再生がスタートします。再生中は画面の下段に、ピアノパートの音量と、「ヤマハフォーマット」を示す「YM」が表示されます。



- 4 演奏をストップする場合は[ストップボタン]を押します。



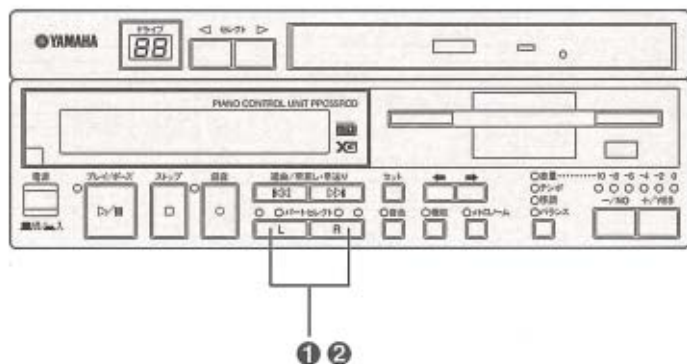
●「ピアノソフトプラスオーディオCD」のオーディオパートの音量を調節するには

- ① 再生中または停止中に[セレクトボタン]を何回か押して、画面に「CD Master Balance」と表示させます。



オーディオパートの再生音量

- ② [-/NOボタン][+/YESボタン]を押して、ピアノの音とバランスがとれるようにオーディオパートの音量を調節します。
ピアノの音とオーディオパートのトータルな音量を調節するには③④の操作をします。
- ③ 再生中または停止中に[セレクトボタン]を何回か押して、音量ランプを点灯させます。
- ④ [-/NOボタン][+/YESボタン]を押して、音量を調節します。
②で設定したバランスを保って、ピアノの音とオーディオパートの音が一緒に変化します。



●「ピアノソフトプラスオーディオCD」のピアノパートの演奏をキャンセルするには

- ① 再生中または停止中に[パートセレクトボタン](L/R)を押します。
Lパート/Rパートともにキャンセルしたい場合は、両方のボタンを押します。
キャンセルするとボタン上のランプが点滅します。



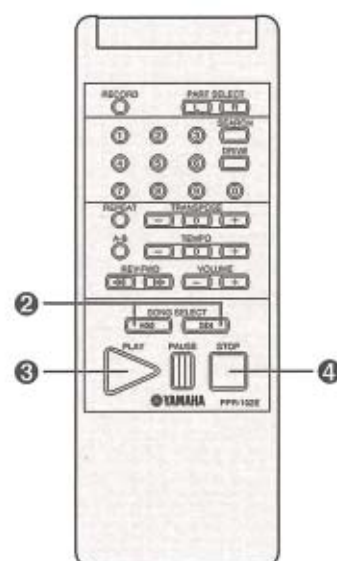
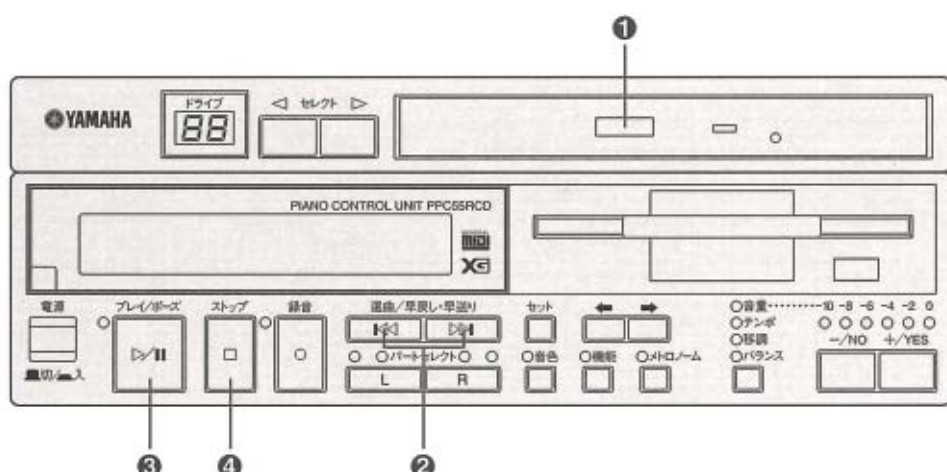
- ② キャンセルしたパートの[パートセレクトボタン]を押すと、キャンセルは解除され、演奏が聴けます。



※付属の「ピアノソフトプラスオーディオCD」のピアノパートは、Lパートのみ記録されています。Rのランプも点灯しますがデータは入っていません。

市販のオーディオ CD を再生する

■ CD の再生



- 市販の一般的なオーディオ CD を再生します。



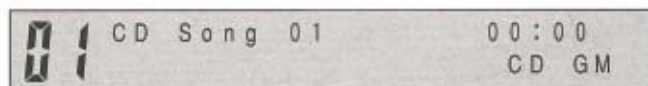
- 一般のオーディオ CD を再生するとスピーカーやヘッドホンで音が聴けます。
- CD の選曲/再生/停止などはリモコンでも操作できます。
- 付属の「ピアノソフトプラスオーディオ CD」と同様に、CD の音量(CD Master Balance)を調節することができます(P43)。1 回設定すると、他の CD の曲を再生してもその音量で再生されます。



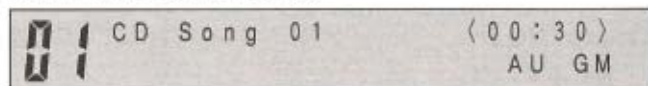
- CD の伴奏を聴きながら、440Hz 以外で調律されたピアノで鍵盤演奏する際に違和感のある場合は、オーディオデータをチューニングすることができます(「オーディオ CD ピッチアジャスト」P47 参照)。
- 再生中、一時停止中は CD を取り出さないでください。
- 「PianoSoftPlusAudio」はヤマハ株式会社の登録商標です。



- ① [CD 取り出しボタン] を押して CD トレイを引き出し、CD をセットしてトレイを閉めます。自動的に CD ドライブが選択され、[ドライブインジケータ] に「Cd」と表示されます。既に CD が挿入されている場合は「CD ドライブ」を選択してください(P31 参照)。
- ② [選曲/早戻し・早送りボタン] を押して、再生したい曲を選びます。



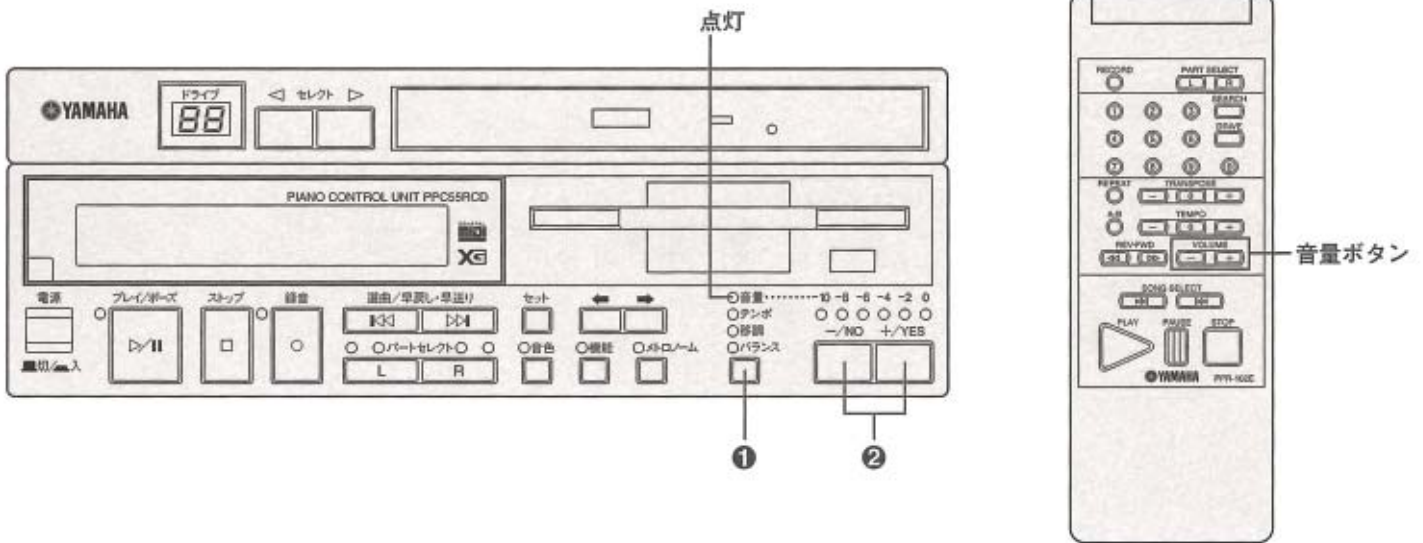
- ③ [プレイ/ポーズボタン] を押すと、再生がスタートします。再生中は画面の下段に、オーディオ CD の「AUDIO」を示す「AU」が表示されます。



- ④ 演奏をストップする場合は [ストップボタン] を押します。

再生音の音量を調節する

■音量調節



- 自動演奏やCDの再生音量を調節する機能です。再生・ポーズ・停止中とも操作できます。
- 音量調節は-10～0の11段階。
- オリジナルにいちばん近い音量が0(標準)です。



- [-/NOボタン][+/YESボタン]を同時に押すと、音量は0になります。
- 音量設定は、[-/NOボタン][+/YESボタン]上部の点灯で確認できます。
- リモコンでは、[音量ボタン]で調節できます。
- サイレント時はピアノ電子音の再生音量が調節されます(ピアノの音は鳴りません)。ヘッドフォンまたは本体のスピーカーでお聴きになれます。
- AUX IN端子より入力された音は、音量調整されません。



- 音量設定は、電源を切っても記憶しています。



- ① 音量ランプが点灯していなければ、点灯するまで何回か[セレクトボタン]を押します。
- ② [-/NOボタン][+/YESボタン]で音量を調節します。

-10 -8 -6 -4 -2 0
○ ○ ○ ○ ○ ○ ← 選んだ音量を点灯で表示

[点灯例]

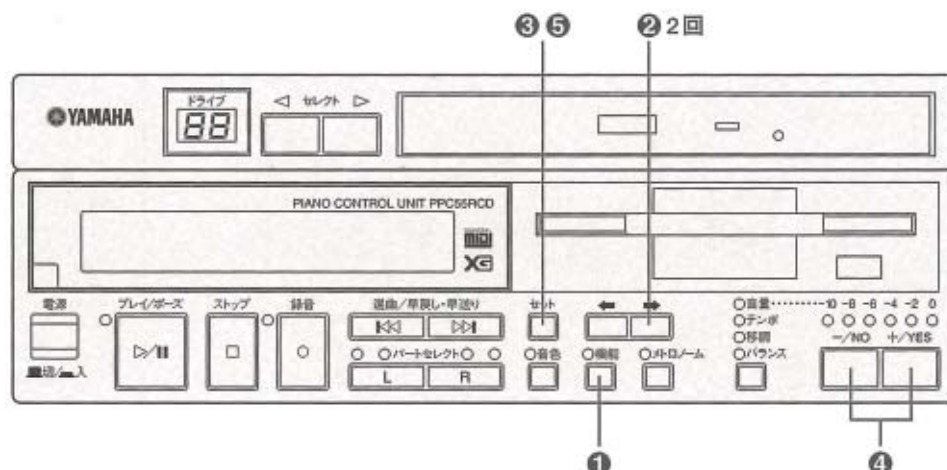
-10 -8 -6 -4 -2 0
● ○ ○ ○ ○ ○ -10の場合

-10 -8 -6 -4 -2 0
● ● ○ ○ ○ ○ -9の場合

-10 -8 -6 -4 -2 0
○ ● ○ ○ ○ ○ -8の場合

内蔵電子音源の音程をピアノに合わせる

■TG マスターチューン機能



●鍵盤を弾くと、ピアノ本体とピアノ電子音が同時に発音します。音のにごり、うなりが無くなるように、チューニング値(セント値)を上下させ、本機の音程をピアノの音程に合わせます。

●電子音源のピッチは一般にA3=440Hzですが、この機能を使えば440Hz以外に調律されたアコースティックピアノに合わせて、内蔵電子音源をチューニングするといったことが可能です。

●ピッチコントロール機能の可変範囲

| | |
|--------------|----------|
| +001～+050セント | ピッチを上げる |
| 0セント | A3=440Hz |
| -050～-001セント | ピッチを下げる |

※440Hzに対し1Hzは約4セントです。

●ピッチコントロールを行うと、内蔵電子音源だけでなくピアノ電子音も同一にチューニングされ、ピアノとピアノ電子音と外部電子音源を一斉にチューニングすることになります。



●③で、[－/NOボタン][＋/YESボタン]を同時に押すと000(440Hz)に戻ります。

●この設定は電源を切っても記憶されています。



●リセット機能(P34参照)を実行した場合、工場出荷時の状態(000セント)に戻ります。



●サイレントモードを解除してください(P36、30参照)。

① 機能ボタンを押します。

▶ ティスク *MIDI Setup →
*M-Tune *サイレント

② [カーソルボタン<=>]を2回押して、「▶ M-Tune」と表示させます。

* ティスク *MIDI Setup →
▶ M-Tune *サイレント

③ [セットボタン]を押してマスターチューン機能呼びだします。

==TG Master Tune==
▶ 000 セント (－,＋,セット)

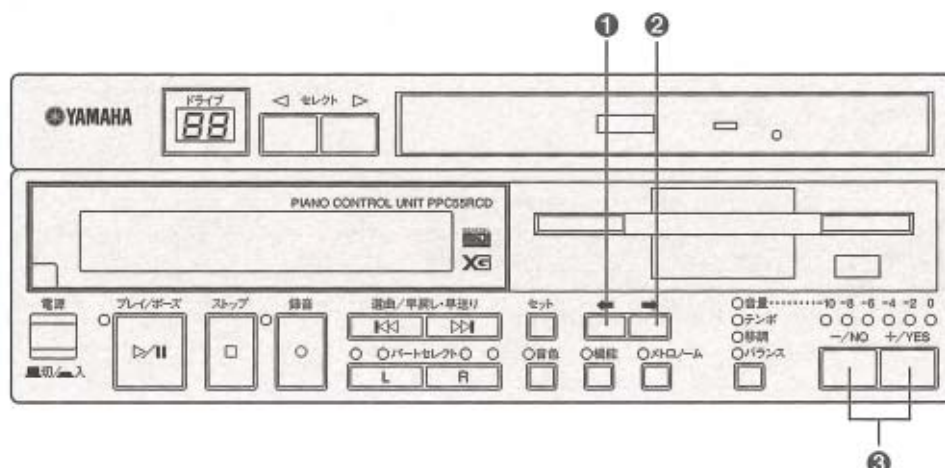
④ 鍵盤を弾きながら、ピアノと電子音の音のにごりやうなりが無くなるように[－/NOボタン][＋/YESボタン]で調整します。

==TG Master Tune==
▶ +003 セント (－,＋,セット)

⑤ チューニングが合ったら[セットボタン]を押します。
※元の画面に戻ります。

オーディオ CD のピッチを一時的に調節する

■オーディオ CD ピッチアジャスト機能



- 一般のオーディオ CD のピッチを一時的に調整できる「オーディオ CD ピッチアジャスト機能」です。
- オーディオ CD ピッチアジャストの設定範囲

| | |
|--------------|---------------|
| +001～+050セント | ピッチを上げる |
| 0セント | オーディオ CD のピッチ |
| -050～-001セント | ピッチを下げる |

※ 440Hz に対し 1Hz は約 4 セントです。



- リセット機能 (P34) を実行した場合は工場出荷時の状態 (000 セント) に戻ります。
- 「オーディオ CD ピッチアジャスト機能」の設定はあくまでも一時的なもので、オーディオ CD を取り出すと設定は解除されます。
- 「オーディオ CD ピッチアジャスト機能」は、AUX IN 端子に入力した外部のオーディオ CD のピッチを調整することはできません。
- 一般のオーディオ CD (ステレオ) にこの機能を使うとモノラル再生になります。



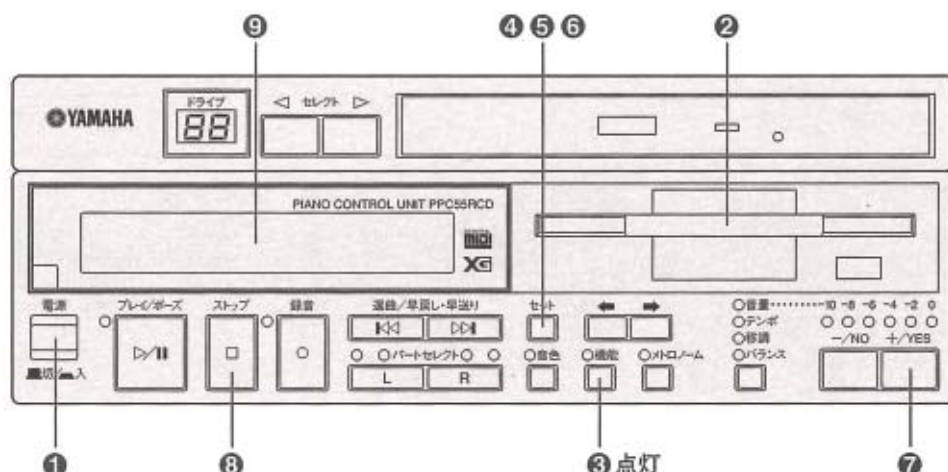
- ① オーディオ CD を入れ、曲名画面になったら [カーソルボタン] を押して下の画面を呼び出します。

ケンパ'ン ON (00:00) →
オーディオピ'ッチ= 000 セント

- ② [カーソルボタン] を押して「オーディオピッチ▶」と表示させます。
- ③ [-/NO ボタン] [+/YES ボタン] を押してピッチを調整します。

新品のフロッピーを本機で使えるようにする

■フロッピーのフォーマット



- 「フォーマット」は、フロッピーを本機で使えるようにする機能です。
- 新しくお買い求めになったフロッピーは、録音やディスクコピーに用いる前にフォーマットを行ってください。
- ⑤の表示で、タイプを「SMF Type Disk」から「E-SEQ Type Disk」に変更することもできます。ディスクフォーマットのタイプについては、P21、130をご参照ください。
- 旧モデルのサイレントアンサンブルピアノやピアノプレーヤーと交換をとる場合は、2DDのフロッピーを使ってE-SEQタイプにフォーマットしてください。
- メモリディスクは工場出荷時にSMFタイプにフォーマットされていますが、再フォーマットをしたり、E-SEQタイプにフォーマットすることも可能です（メモリディスクのフォーマットは④から操作を始めます）。



- すでに内容が書き込まれているフロッピーやメモリディスクをフォーマットすることもできますが、その場合は内容がすべて消去されます。
- フロッピー（またはメモリディスク）の曲を全部消したい時には、フォーマットすると一度に行えます。
- ⑤の表示で「- / NO ボタン」を押せば、フォーマットをキャンセルして⑤の表示に戻ります。



- フォーマットを始めると（⑦で「+ / YES」ボタンを押すと）、⑧の表示になるまで途中で止めることはできません。その間にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- プロテクトがオンのフロッピーは、フォーマットできません（P15参照）。
- ④で「▶フォーマット」と表示されていない場合は、カーソルボタンを押して▶を移動します。
- ディスク機能を途中で終了したい時は、もう1度機能ボタン（またはストップボタン）を押して消灯させます。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販ディスク（E-SEQ）をフォーマットすることはできません。



- 停止中に操作します。

- ① [電源ボタン]を押します。



- ② フォーマットしたいフロッピーを[フロッピーディスクドライブ]に入れます。(3.5インチ2DD、2HDタイプ)

ディスクカ フォーマットサレタイマセン

- ③ [機能ボタン]を押します。

▶ディスク *MIDI Setup →
*M-Tune *サイレント

- ④ 表示が「▶ディスク」となっていることを確認して、
[セットボタン]を押します。

▶フォーマット *キョクショウキョ
*キョク コヒ*ー *キョク ナラヒ*カエ →

- ⑤ 表示が「▶フォーマット」となっていることを確認して、
[セットボタン]を押します。

[デ*ィスク フォーマット] (ー, +)
▶SMF Type Disk (セット)

※「SMF Type Disk」と「E-SEQ Type Disk」の切り換えは、
[ー/NOボタン][+/YESボタン]で行います。

- ⑥ もう一度[セットボタン]を押します。

[デ*ィスク フォーマット] イイデ*スカ?
SMF Type Disk (YES, NO)

- ⑦ [+/YESボタン]を押すとフォーマットが開始されます。

99 シ* ッコウチュウ
デ*ィスクヲ トリタ* サナイデ* !

- ⑧ 約1分後下の表示になったら、[ストップボタン]を押します。

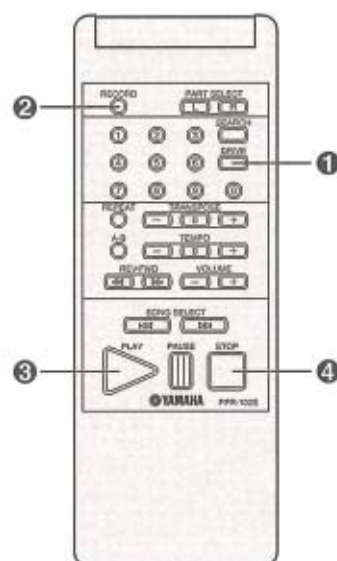
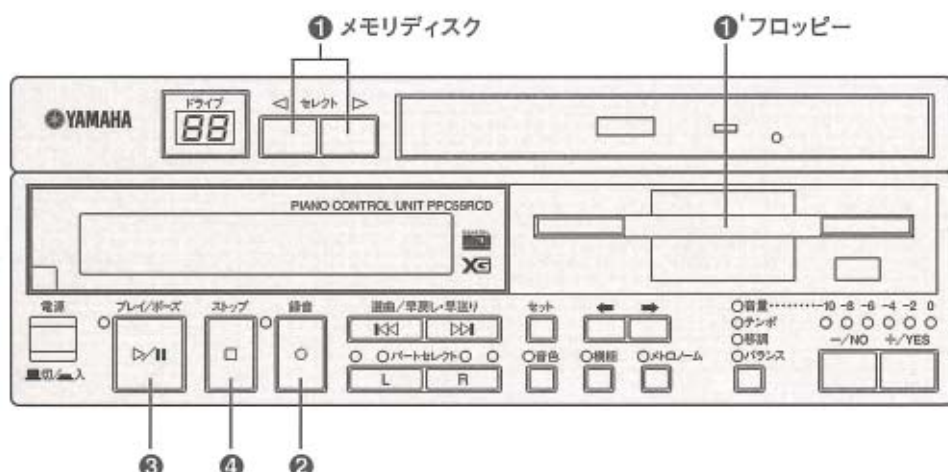
シュウリョウシマシタ
ナニカ ホ* タンヲ オシテクタ* サイ

- ⑨ 表示が変わったら、フォーマット終了です。

<----->→
GM

ピアノの演奏を録音する

■録音の基本操作



- 機能**
- 演奏を始めた時点から録音されます。
 - フロッピーを入れないとメモリディスクに録音されます。フロッピーを入れておくとフロッピーに録音されます。
 - 新しいフロッピーは必ずフォーマットしてから使用します (P48 参照)。

- ポイント**
- [録音ボタン]を押すと、新しい曲番号が表示されます。5曲録音済みのメモリディスク (フロッピー) なら自動的に6曲目が選ばれます。
 - 新たに録音する場合、自動的にLパートに録音されます (変更も可能)。再生時にパートキャンセルするためには、ここで左手パートのみ録音し、後でRパートに右パートを録音します (P80 参照)。
 - 録音後は自動的に「PIANO○○○.○○○」が仮の曲名としてセットされます (ファイル名は自動的に割り振られます)。録音待機状態で[録音ボタン]を1回押すと、タイトルを付ける画面に移ります (P102 参照)。
 - 「メトロノーム録音」(P90)を行うと、曲の経過が「分・秒」でなく「小節・拍」で表示されます。
 - ペダルカウント録音 (P82 参照) をおこなうと、弾きはじめの合図が入り便利です。

- 注意**
- 録音を途中でやめたい時は[ストップボタン]を押します。フロッピーに録音中は途中でフロッピーを取りださないでください。
 - ⑤の表示で右下に「DSK」と点滅したら、メモリディスク (フロッピー) の残量が10%以下です。メモリディスクが一杯になったら曲をフロッピーに移します (P118 参照)。フロッピーの場合は空きのあるものと交換してください。
 - プロテクトがオンになっているフロッピーに録音しようとする、「ディスクプロテクトがかかっています!」と表示されます。録音してよいフロッピーの場合は、ストップボタンを押し、フロッピーを取り出して、プロテクトをオフしてから録音してください (P15 参照)。

●メモリディスクに録音するには

- 1 [ドライブセレクトボタン]を押して録音したいメモリディスク (0~9、A~F) を選びます。
選択したメモリディスクが[ドライブインジケータ]に表示されます (P31 参照)。

- 2 [録音ボタン]を押して、録音待機状態に入ります。



- 3 [プレイ/ポーズボタン]を押して演奏を始めます。
演奏を始めた時点から録音が始まり、カウンターが進みます。



- 4 録音が終わったら[ストップボタン]を押します。



- 5 曲名の表示に変わったら、録音終了です。



●フロッピーに録音するには

① フロッピーを[フロッピーディスクドライブ]に入れます。

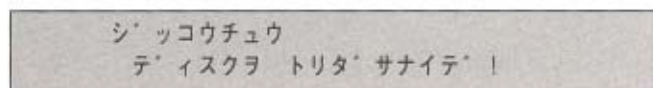
② [録音ボタン]を押して、録音待機状態に入ります。



③ [プレイ/ポーズボタン]を押して演奏を始めます。
演奏を始めた時点から録音が始まり、カウンターが進みます。



④ 録音が終わったら[ストップボタン]を押します。

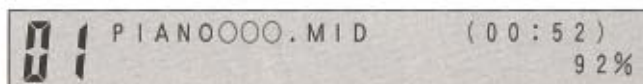


⑤ 曲名の表示に変わったら、録音終了です。



●録音を一時停止するには

● 録音中に[プレイ/ポーズボタン]を押します。
これで録音が一時的に停止されます。



● もう1回[プレイ/ポーズボタン]を押すと、録音が再開されます。

